

【報告事項】 小型車両活用デマンド交通事業の実証運行の中間評価について

1 趣旨

区では、路線バスの運行休止により地域の交通利便性が特に低下した西亀有エリアにおける新たな交通手段として、令和7年10月から小型車両活用デマンド交通（事業呼称「かつライド」）の実証運行を行っている。

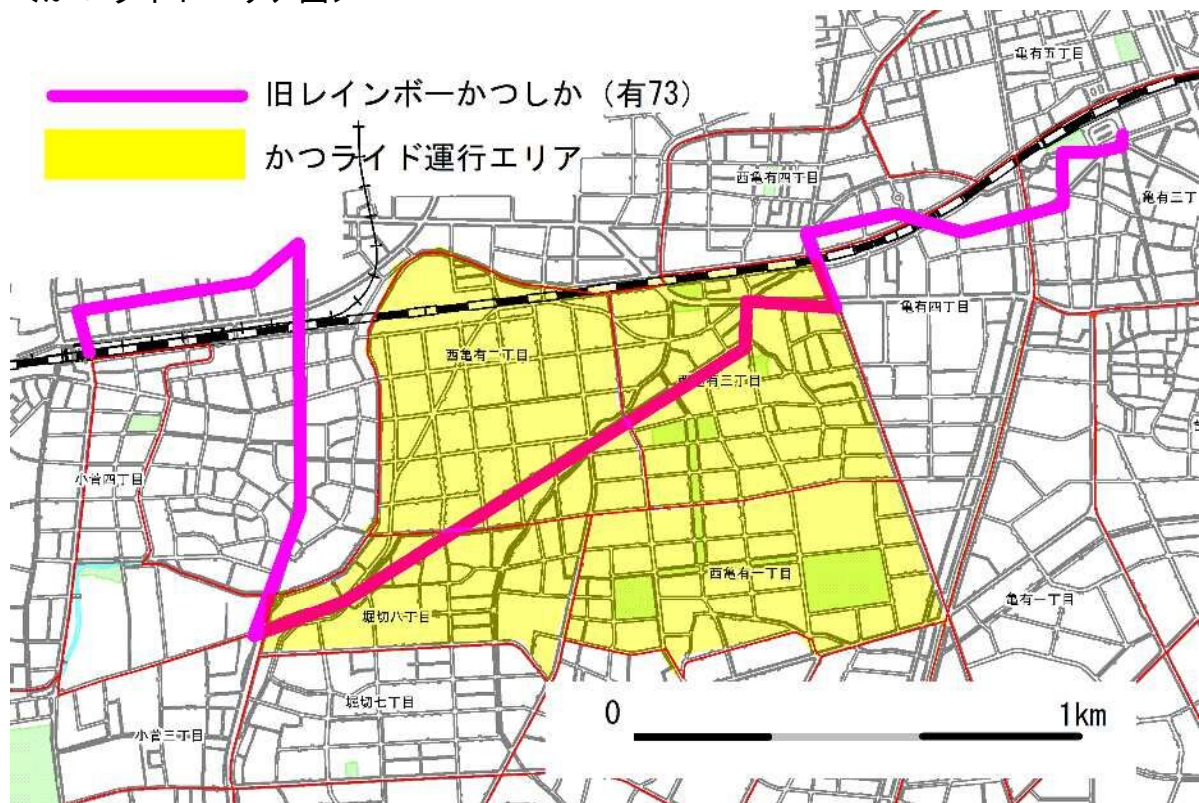
この度、実証運行開始から1年が経過したことから、これまでの利用状況や利用者アンケート等を踏まえた中間評価及び6月1日から実施した運行実施計画の見直しに関する評価を取りまとめた。

また、本格運行に向けた最終評価を実施するため、9月中旬から住民アンケート調査を開始しており、今後、その結果を踏まえて本格運行についての最終評価を行っていく。

2 運行概要

事業呼称	かつライド
実証運行期間	令和7年10月1日から令和9年3月31日まで
運行方式	対象地区内の自宅と対象施設間の移動
対象地区	西亀有一、二、三丁目、堀切八丁目
利用対象者	どなたでも（登録不要）
対象施設	29箇所（医療施設、商業施設、公共施設、鉄道駅、バス停）
運行日	月～土曜日（祝日を除く）
受付時間	8時から18時まで
利用負担額	500円／1回
運行事業者	東京無線協同組合、東都タクシー無線協同組合
運行車両	通常営業中のタクシー車両
区の支援	迎車料金と運賃の合計額から利用負担額（500円）を差し引いた額を負担（R7負担金決算額1,961,999円）
運行エリア	次ページのとおり

<かつライドエリア図>



3 運行実施計画の見直し

令和7年12月に実施した住民アンケート調査の結果を踏まえ、令和8年6月1日付で運行実施計画の見直しを行った。

見直し内容

○対象施設の追加 3箇所

(下千葉診療所、あやせ慶友整形外科、葛飾リハビリテーション病院)

○受付時間の変更 8時から18時

(見直し前の受付時間 9時から17時)

4-1 実証運行の中間評価

以下の指標1～5により、実証運行の中間評価を実施する。現時点では、5つの指標の内、指標1を除いた4つの指標が目標に達している状況である。

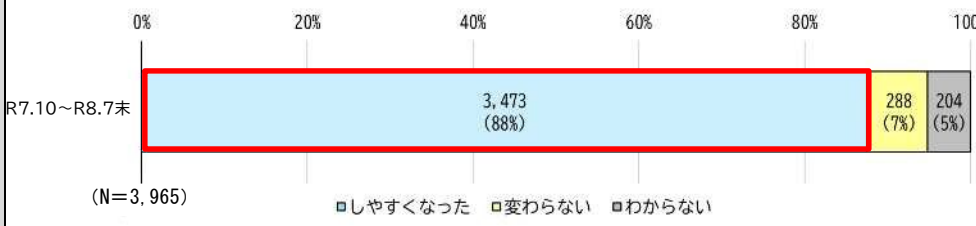
指標1 1日の平均利用件数が20件以上あること。

結果	1日の平均利用件数が19.1件	中間評価	未達成																								
内容	1日の平均利用件数目標：20（件/日） R8.6.1～ 運行実施計画の見直し <table><thead><tr><th>期間</th><th>利用件数（日平均）</th></tr></thead><tbody><tr><td>R7.10</td><td>16.1</td></tr><tr><td>R7.11</td><td>13.3</td></tr><tr><td>R7.12</td><td>17.0</td></tr><tr><td>R8.1</td><td>13.4</td></tr><tr><td>R8.2</td><td>15.7</td></tr><tr><td>R8.3</td><td>18.6</td></tr><tr><td>R8.4</td><td>16.8</td></tr><tr><td>R8.5</td><td>18.8</td></tr><tr><td>R8.6</td><td>27.0</td></tr><tr><td>R8.7</td><td>32.7</td></tr><tr><td>合計</td><td>19.1</td></tr></tbody></table> ■ 利用件数（日平均）			期間	利用件数（日平均）	R7.10	16.1	R7.11	13.3	R7.12	17.0	R8.1	13.4	R8.2	15.7	R8.3	18.6	R8.4	16.8	R8.5	18.8	R8.6	27.0	R8.7	32.7	合計	19.1
期間	利用件数（日平均）																										
R7.10	16.1																										
R7.11	13.3																										
R7.12	17.0																										
R8.1	13.4																										
R8.2	15.7																										
R8.3	18.6																										
R8.4	16.8																										
R8.5	18.8																										
R8.6	27.0																										
R8.7	32.7																										
合計	19.1																										
	令和8年7月末時点の1日の平均利用件数：19.1件																										
今後の方向性	運行実施計画の見直し後、利用者数は増加傾向にあり、目標件数に近づきつつある。今後も継続的に利用状況を注視していく。																										

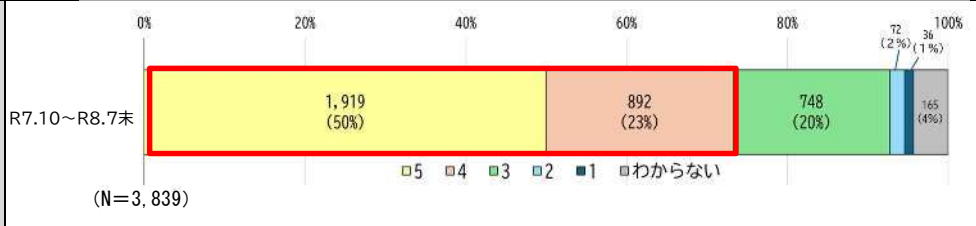
指標2 周辺の路線バスに与える影響が小さいこと。

結果	路線バスに与える影響は小さい	中間評価	達成
内容	「かつライド」対象地区周辺のバス路線（綾01、有01、有57、新小51系統）において、実証運行前後で利用者数の比較をしたところ、大きな差異は見られなかった。 8月にバス事業者（京成バス東京）へのヒアリングを実施し、今後の「かつライド」の実証運行継続について、同意を得ている。		
今後の方向性	- 引き続き、対象地区周辺のバス路線の利用状況をモニタリングし、影響について分析を行っていく。 - バス事業者と継続的に情報共有を行い、適宜ヒアリング等を実施していく。		

指 標 3 利用者の移動利便性が向上していること。

結果	利用者の移動利便性が向上している。	中間評価	達成
内容	 ・利用者アンケートより、「かつライドによって外出しやすくなった」と回答した方が88% ・前回（令和8年3月地域交通政策特別委員会時）の中間評価では、同割合は85%であった。		
今後の方向性	引き続き、回答の推移を確認していく。		

指 標 4 利用者の総合的な満足度が高いと判断されること。

結果	利用者の総合的な満足度が高い。	中間評価	達成
内容	 ・利用者アンケートより、満足度が高い「5」及び「4」と回答した方が73%（5点満点の採点方式） ・前回（令和8年3月地域交通政策特別委員会時）の中間評価では、同割合は69%であった。		
今後の方向性	引き続き、回答の推移を確認していく。		

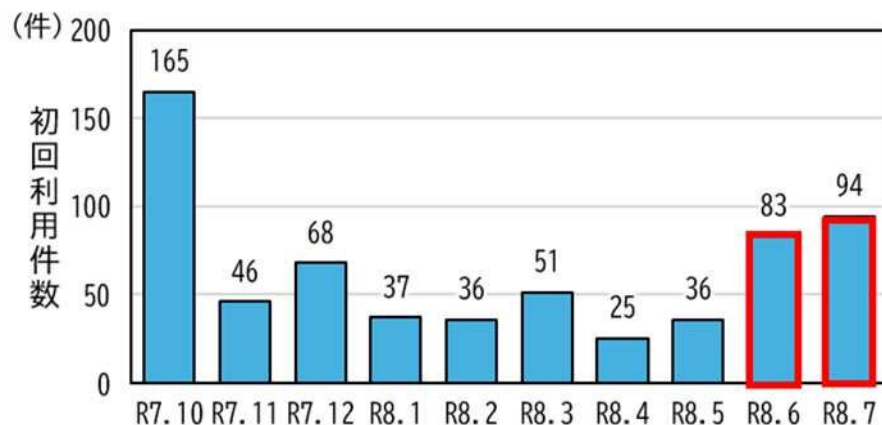
指 標 5 1つ以上のタクシーグループの協力があること。

結果	運行事業者2社の継続意向を確認	中間評価	達成
内容	・「かつライド」利用者への対応は配車センター及びドライバーともに円滑に実施できている。 ・通常業務と作業内容は大きく変わらず、負担はかかっていない。 ・8月にタクシー事業者（東京無線協同組合、東都タクシー無線協同組合）へのヒアリングを実施し、「かつライド」の運行事業者として、継続意向を示している。		
今後の方向性	次回の最終評価においても、タクシーグループの継続意向をあらためて確認していく。		

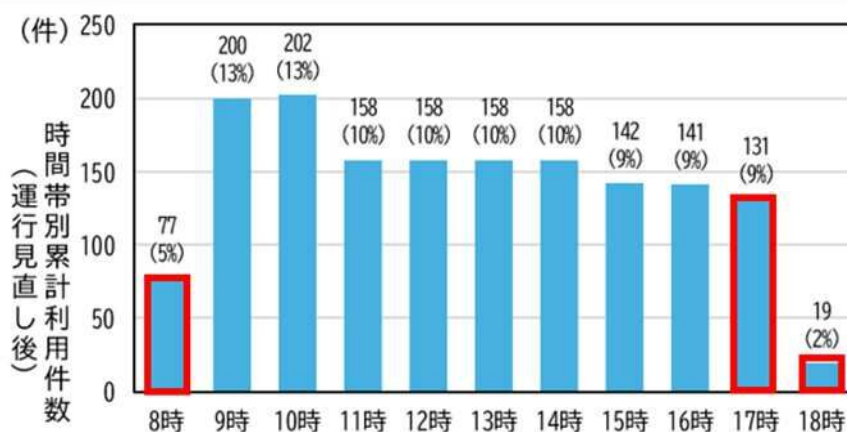
4-2 運行実施計画の見直し後の評価

■利用実績

利用回数:「初めての利用」と回答した数(月次推移)



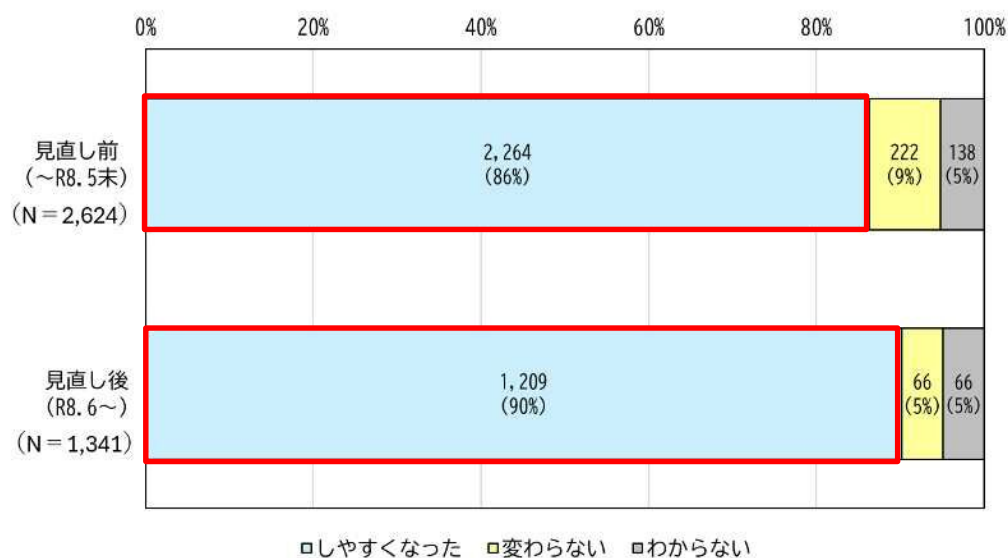
時間帯別利用件数(見直し後:R8.6~R8.7月末時点の累計)



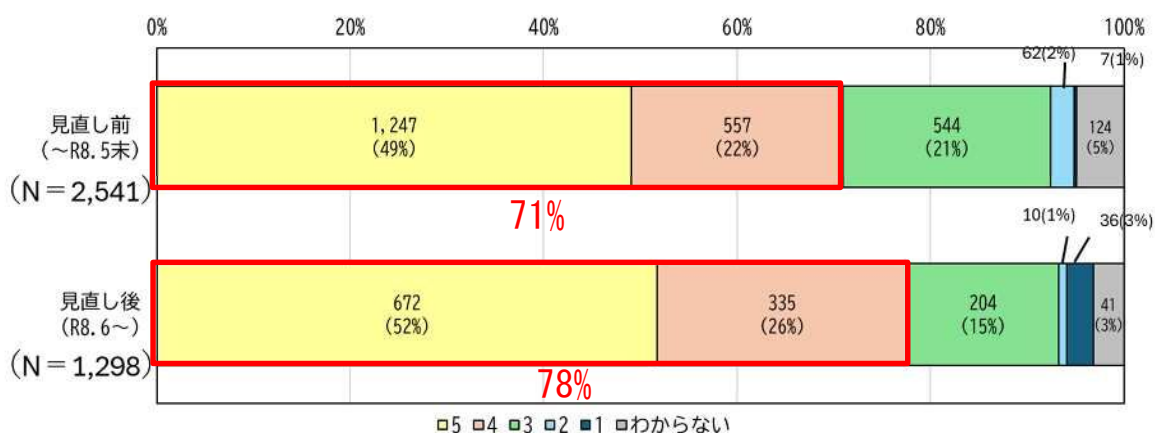
- ・6月・7月は、「初めて利用した」と回答した件数が増加しており、新規利用者の増加が見られる。
⇒運行実施計画の見直しに伴い、リーフレット等の全戸配布、自治町会回覧、SNS等による周知が利用促進に一定の効果を上げているものと考えられる。
- ・追加した対象施設への利用があること（P9参照）に加え、朝8時台及び夕方17時以降の利用が全体の約16%を占めていることも見られる
⇒対象施設の追加及び受付時間の拡大が利用拡大に寄与しているものと考えられる。

■利用者アンケート結果

外出のしやすさ



「かつライド」の総合満足度

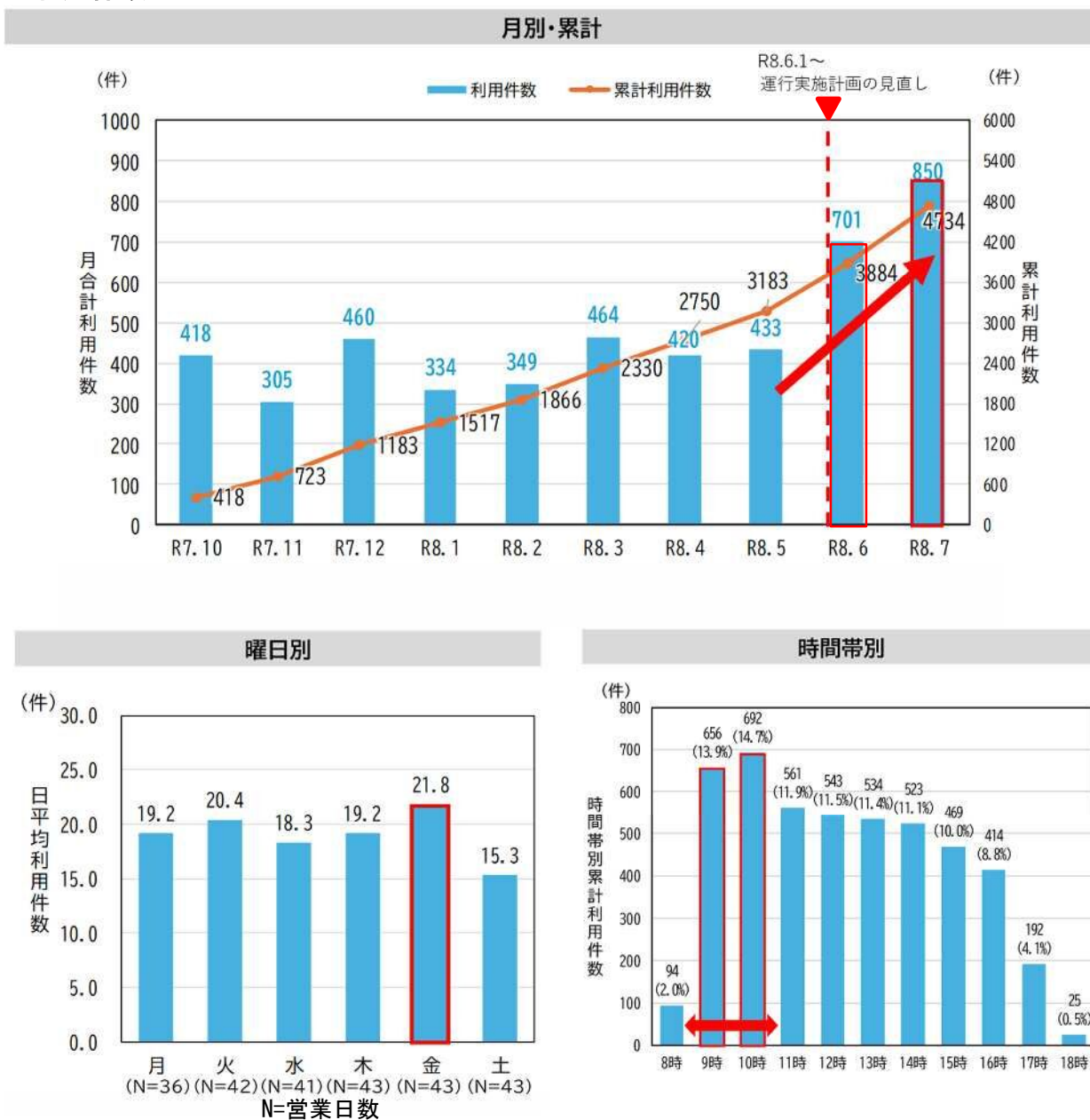


- ・外出のしやすさについて、「しやすくなった」と回答した割合は、見直し前の86%から見直し後は90%となり、約4ポイント向上している。
- ・「かつライド」の総合満足度について、「5」又は「4」と回答した割合は、見直し前の71%から見直し後は78%となり、約7ポイント向上している。

- ・6月に実施した運行実施計画の見直しについては、利用拡大に寄与しているほか、利用者アンケートにおいても外出のしやすさ及び満足度の向上が確認されていることから、一定の効果があったものと考えられる。
- ・一方で、6月・7月の利用件数は目標件数を上回る状況となっていることから、今後は、区負担額の増加状況と、日常生活に不可欠な移動ニーズへの対応とのバランスに留意しながら、利用状況を注視していく必要がある。

5 利用状況（令和8年7月末時点）

■利用件数



・利用件数は月ごとに増減があるものの、運行実施計画の見直し後である6月以降、比較的多くなっている。

⇒6月及び7月は雨天日が多く、雨天時はタクシーの利用件数が比較的多い傾向にあることから、その影響があるものと考えられる。

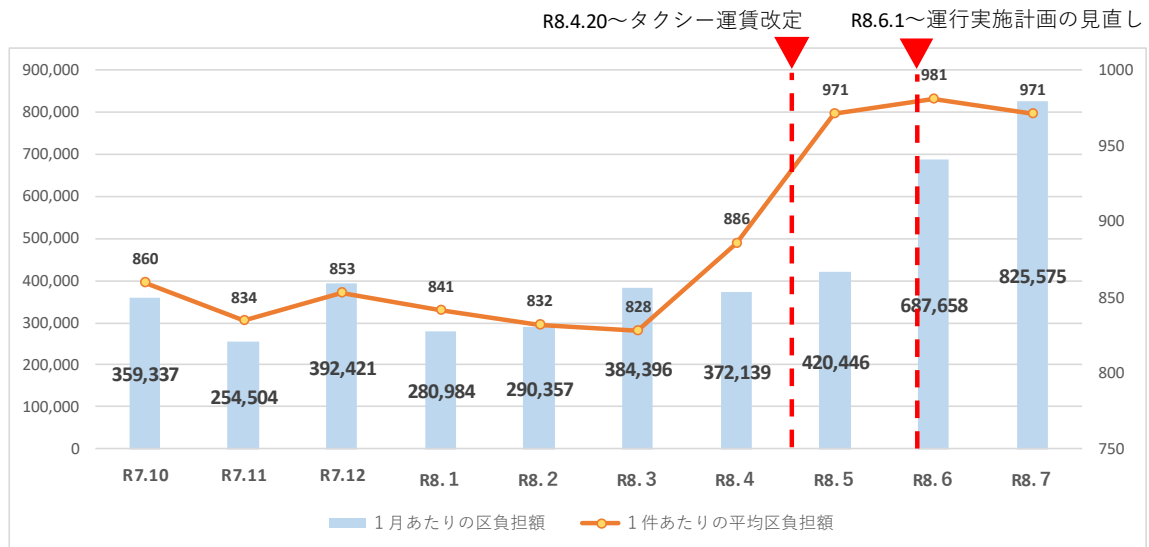
・曜日別では、金曜日の利用が比較的多くなっている。

⇒他の曜日と比べて、亀有駅や綾瀬駅などの鉄道駅への移動に加え、アリオ亀有などへの週末に向けた買い物需要が影響しているものと考えられる。

・時間帯別では、午前中（9時台～10時台）の利用が比較的多くなっている。

⇒9時台～10時台は、自宅から施設へ向かう利用が特に多く、鉄道駅への移動のほか、亀有病院や東部地域病院などへの通院需要が高い傾向にある。

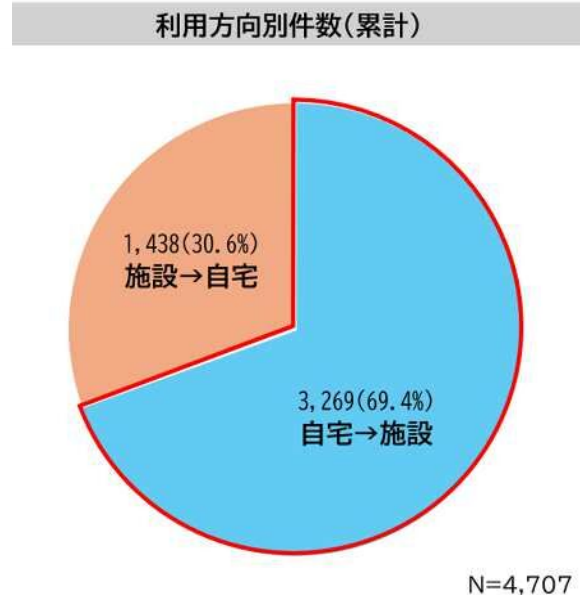
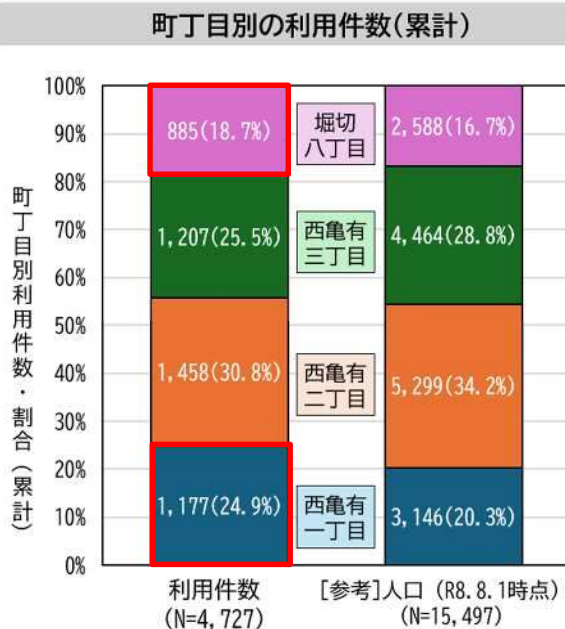
■区負担額



令和8年5月以降、利用1件あたりの平均区負担額は約970円となっており、増加傾向が見られる。

⇒主な要因として、令和8年4月20日に実施されたタクシー運賃改定に伴い、1件あたりの区負担額が増加したことが考えられる。

■居住地域・行先方向

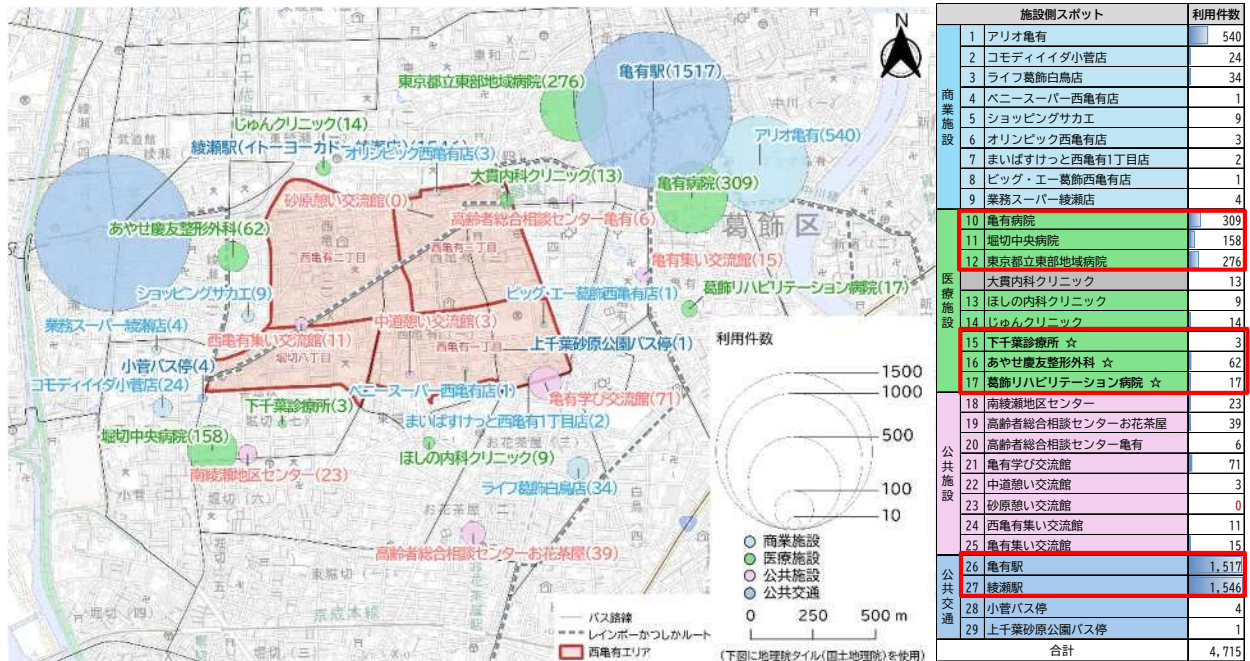


・西亀有一丁目及び堀切八丁目では、人口分布と比較して、利用密度が比較的高い。

⇒他のエリアと比べて、亀有駅や綾瀬駅からの距離が遠いことから、駅への移動手段としての利用が多くなっているものと考えられる。

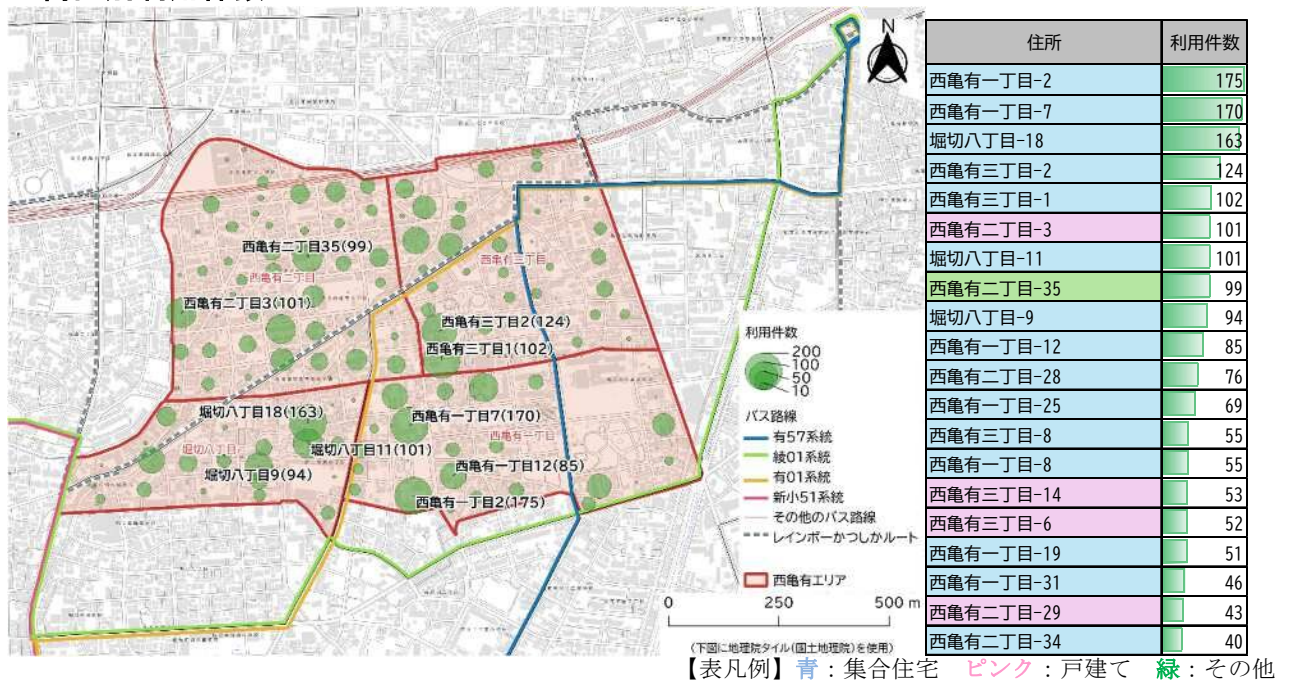
・自宅側から施設側に向かって利用する方が多く69%を占める。施設側には特定の乗り場がないことや、駅ロータリー等に停車しているタクシーも利用可能なため、施設側→自宅側方向の利用が少ないと想定される。

■利用されている対象施設



- ・綾瀬駅・亀有駅が、それぞれ全体の30%強を占め、特に多くなっている。
- ・商業施設ではアリオ亀有、医療施設では亀有病院や東京都立東部地域病院、堀切中央病院への利用が多い。
- ・令和8年6月に追加された医療施設では、あやせ慶友整形外科で62件の利用があるほか、葛飾リハビリテーション病院17件、下千葉診療所3件の利用がみられる。

■街区別利用件数



- ・利用者は広範囲、低密度に分布していることがわかる。利用件数が集中している箇所は主に集合住宅が位置しており、一人当たりの利用頻度は多くないと推測される。
- ・有57系統（図中の青線）が運行している地域では比較的利用が少ない。

6 今後のスケジュール

令和8年 10月 住民アンケートの分析

12月 地域交通政策推進特別委員会（最終評価について）

令和9年 2月 葛飾区地域公共交通活性化協議会